

別表（第2条関係）

行為の区分	図書の種類	縮尺	図書に明示しなければならない事項
建築物その他の 工作物の新築、 増築、改築又は 移転	付近見取図	15,000 分の1以上	方位、施行箇所、道路及び目標となる 土地、建物等
	配置図	600分の 1以上	方位、敷地の境界線、地盤高、壁面か ら境界までの距離、建築物その他主要 工作物の位置並びに敷地に接する道 路の位置及び幅員
	平面図	200分の 1以上	建築面積及び建ぺい率の算出計算式
	立面図	200分の 1以上	色彩
	構造図	50分の1 以上	
	植栽計画図	600分の 1以上	方位、敷地の境界線、既存樹木及び植 樹木の位置、樹種及び大きさ並びに緑 化率の算出計算式
建築物その他の 工作物の色彩の 変更	現況写真		色彩変更計画部位
	色彩判断資 料		
宅地の造成、土 地の開墾その他 の土地の形質の 変更、水面の埋 立て若しくは干 拓又は土石の類 の採取	付近見取図	15,000 分の1以上	方位、施行箇所、道路及び目標となる 土地、建物等
	地形図	600分の 1以上	方位、行為地の境界線、地盤高及び植 生の概要
	計画平面図	600分の 1以上	方位、行為地の境界線及び地盤高
	緑地計画図	600分の 1以上	方位、敷地の境界線、既存樹木及び植 樹木の位置、樹種及び大きさ並びに緑 化率の算出計算式
	縦横断面図	600分の 1以上	現況と行為後の状況との対比

木竹の伐採	付近見取図	15,000分の1以上	方位、施行箇所、道路及び目標となる土地、建物等
	現況平面図	600分の1以上	方位、行為地の境界線及び等高線
	計画平面図	600分の1以上	方位、行為地の境界線及び伐採木の位置又は伐採林の区域
屋外における物件の堆積	付近見取図	15,000分の1以上	方位、施行箇所、道路及び目標となる土地、建物等
	現況平面図	600分の1以上	方位、行為地の境界線及び地盤高
	計画平面図	600分の1以上	方位、行為地の境界線、地盤高及び伐採木の位置又は伐採林の区域
	縦横断面図	600分の1以上	現況と行為後の状況との対比

備考

- 1 この表において「目標となる土地、建物等」とは、河川、湖沼、駅、停車場、公共建物等をいう。
- 2 行為の内容を変更する場合は、平面図及び計画平面図とあるのは、対照平面図とする。
- 3 立面図は、4面のものを原則とする。
- 4 擁壁等に係る行為を行わない場合は、構造図の提出を省略することができる。
- 5 植栽計画図に明示しなければならない事項が配置図に明示されている場合は、植栽計画図の提出を省略することができる。
- 6 緑地計画図に明示しなければならない事項が地形図に明示されている場合は、緑地計画図の提出を省略することができる。